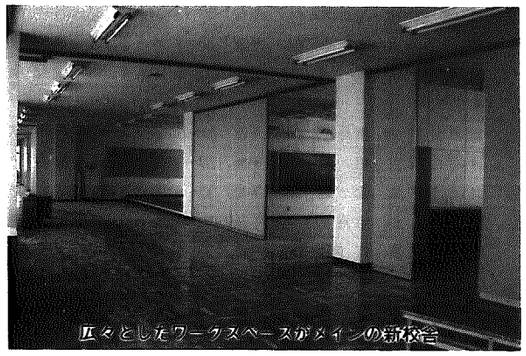
ことしも厳しい水田転作

先月十二日(火)、各地区農家組合長や農業関係者ら約七十人が参集し、「水田農業確立対策推進協議会」が開かれました。会議では、平成二年度の転作実施状況などの説明のあと、平成三年度の各農家への転作等目標面積や限度数量などについての説明が行われました。ことし岩室村へ配分された転作等目標面積は、二八四・二*ha*(他用途米を含む)で、率にして二二・六九%とほぼ前年と同じ数値となりましたが、依然として厳しい状況にあり、今年度も目標達成にむけては農家みなさんのご協力がぜひ必要です。


広々としたワークスペースがメインの新校舎

工事も順調に進む　和納小学校建設工事

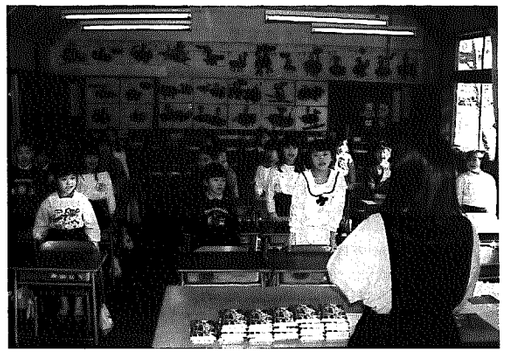
平成元年度から総工費約11億6千万円(外構工事除く)で始まった和納小学校建設工事も、先月、校舎棟、屋内体育館などがほぼ完成しました。新校舎は、子どもたちが伸び伸びと学習ができるようにと空間を有効利用したオープンスペース(写真)が特徴の近代的校舎となり、そして来月からは最終工事のプール、グラウンド、外構(植栽)工事などが、9月開校を目指して急ピッチで進められます。周辺の皆さんには、もうしばらくの間ご迷惑をおかけしますが、宜しくお願いします。

子供たちの悩みを探る　村P連主催 新春講演会

先月十七日公民館講堂で、「新春講演会」(村PTA連絡協議会主催)が開催されました。

同講演会は、児童、生徒の健全育成のため毎年開かれているもので、今回は県警ヤングテレホンの担当者が来村、今日の子どもたちが悩んでいる問題点などについて、具体的な事例をあげての講演が行われました。

当日は、どの家庭にもある身近な問題ばかりとあって、詰めかけた聴衆(約160人)たちもうなづきながらその講演に聞き入っていました。



〝気分はすっかり一年生〟

「ハーイ、ハイ！」と元気な声が聞こえた先月14日、岩室小学校でことし入学する新一年生の「一日体験入学」が行われました。青空の広がったこの日は、お母さんに手をひかれた子どもたちが元気に登校。さっそく仮の学級に分れて机に着席、最初はソワソワ落ち着かなそうにしていた子どもたちも、点呼がはじまるころには、もうすっかり一年生気分。ことし岩室小学校への入学予定者は46名と例年よりちょっと少なめですが、明るい笑顔と賑やかさは、例年以上の新一年生たちでした。

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係(☎82—4111内線215)までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

ぼくわたしの自信作

さとうたかひろくん
(和納保育園・5歳児)

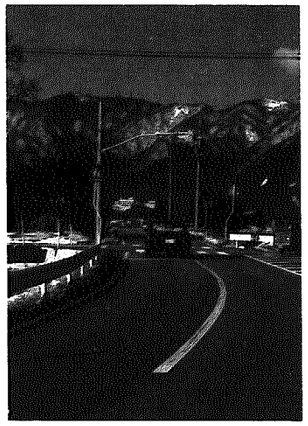
わたなべかなこちゃん
(和納保育園・5歳児)

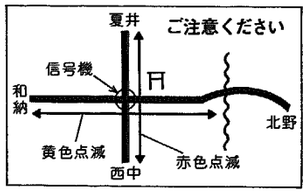
たけうちたけしくん
(和納保育園・5歳児)

種月寺で防火訓練

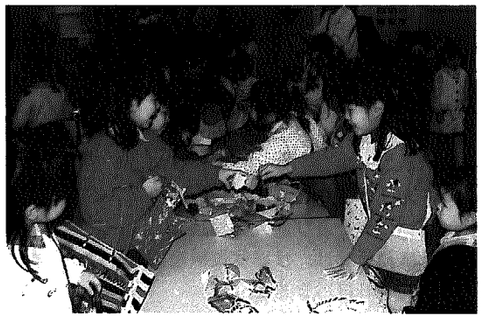
さる一月二十六日(土)、「文化財防火デー」にちなみ、石瀬種月寺(国重要文化財)で防火訓練が行われました。この日が「文化財防火デー」とされたのは、今から四十年前の昭和二十六年のこの日に、国宝だった法隆寺金堂の壁画が焼失したことがもとになって設定されたものです。同防火訓練は毎年行われているもので、当日も午前九時に消防車二台が出動。本堂の延焼を防ぐという設定で放水を開始、約二時間にわたる本番さながらの防火訓練を行いました。参加した関係者らも、この手際よい訓練を真剣に見入っていました。

通行にご注意ください　西中・岡神社前交差点に信号機が設置されました





村内でも、接触事故が多発する〝魔の交差点〟として知られている西中・岡神社前交差点に先月、信号機が設置されました。同交差点は、そう見通しが悪くないせいか、一時停止の交通規制(村道夏井高畑線)があるのにもかかわらず一時不停止違反などが続出、ここを通る人たちの中にもヒヤッとした経験者も多いはず。そこで今回、安全確認の徹底と事故のないスムーズな道路交通を図るため一灯式信号機(農道北野線方向は黄色点滅、村道夏井高畑線方向が赤色点滅)が設置されました。

笑顔と夢を売るお店やさんごっこ　村内各保育園で

先月、村内各保育園で園児らの楽しみの一つ「お店やさんごっこ」が行われました。ここ和納保育園でも、先月8日園児らが何日もまえから作った品物が遊戯場せましと並べられ、さっそくお店やさんごっこのスタート。保母さんや年長児らの元気なかけ声につられ、園児らは「あっちの店、こっちの店」と思い思いの買物を楽しんでいました。